



平成31年 3月19日



鹿追町議会議長 埴 洸 賢 治 様

広報広聴常任委員会

委員長 武 藤 敦 則

所管事務調査報告書

本委員会は、下記のとおり所管事務調査を実施したので報告いたします。

記

1. 調査期間 平成27年6月19日～平成31年3月19日
2. 調査項目
 - (1) 議会広報紙の発行について
 - (2) まちなか会議の開催について
3. 報告者

委員長	武	藤	敦	則
副委員長	山	口	優	子
委員	安	藤	幹	夫
委員	吉	田		稔
委員	狩	野	正	雄
委員	川	染		洋
委員	上	嶋	和	志
委員	加	納		茂
委員	台	蔵	征	一
委員	畑		久	雄

4. 調査・考察

(1) 議会広報紙発行について

[平成27年]

しかおい議会だより 第127、128号 (7、10月発行)
しかおい議会だよりミニ版 第47、48号 (8、11月発行)

[平成28年]

しかおい議会だより 第129～132号 (1、4、7、10月発行)
しかおい議会だよりミニ版 第49～52号 (2、5、8、11月発行)

[平成29年]

しかおい議会だより 第133～136号 (1、4、7、10月発行)
しかおい議会だよりミニ版 第53～56号 (2、5、8、11月発行)

[平成30年]

しかおい議会だより 第137～140号 (1、4、7、10月発行)
しかおい議会だよりミニ版 第57～60号 (2、5、8、11月発行)

[平成31年]

しかおい議会だより 第141号 (1月発行)
しかおい議会だよりミニ版 第61号 (2月発行)

(2) まちなか会議開催について

[平成27年]

○議会報告会・広聴会

6月29日 町民(※8人)(※議員全員)※以下括弧書きは参加者及び対応者

○懇談会

8月18日 女性団体連絡協議会 (9人) (産業厚生常任委員会)
10月14日 認定こども園父母の会 (13人) (広報広聴常任委員会)
11月 2日 JA鹿追町理事 (15人) (産業厚生常任委員会)
12月 8日 手をつなぐ親の会、ペパーミントの会
(12人) (広報広聴常任委員会)
12月 9日 鹿追町商工会 (17人) (産業厚生常任委員会)
12月21日 JA鹿追町青年部 (12人) (広報広聴常任委員会)
12月25日 農業委員会 (10人) (産業厚生常任委員会)

[平成28年]

○議会報告会・広聴会

1月19日 町民（10人）（議員全員）

7月20日 町民（9人）（議員全員）

○懇談会

2月9日 鹿追高校進路担当教諭（7人）（総務文教常任委員会）

8月12日 小・中・高校生（15人）（議員全員）

12月5日 女性団体連絡協議会、JA鹿追女性部、商工会女性部
（17人）（議員全員）

[平成29年]

○議会報告会・広聴会

1月24日 町民（15人）（議員全員）

7月24日 町民（16人）（議員全員）

10月17日 町民（17人）（議員全員）

○懇談会

2月21日 鹿追高校進路担当教諭（7人）（総務文教常任委員会）

[平成30年]

○議会報告会・広聴会

1月25日 町民（13人）（議員全員）

4月17日 町民（10人）（議員全員）

7月25日 町民（11人）（議員全員）

10月19日 町民（6人）（議員全員）

○懇談会

1月10日 中鹿追OB会（20人）（議員3人）

1月11日 JA鹿追町 役職員（15人）（産業厚生常任委員会）

1月22日 幌内老人クラブ（16人）（議員3人）

1月25日 笹川老人クラブ（25人）（議員3人）

2月5日 瓜幕寿会（3人）（議員3人）

2月5日 通明クラブ（20人）（議員2人）

2月19日 上然別寿会（14人）（議員3人）

2月20日 下鹿追あすなろ会（10人）（議員3人）

2月27日 鹿追高校進路担当教諭（7人）（総務文教常任委員会）

2月28日 北鹿追老人クラブ（16人）（議員3人）

3月1日 上幌内寿クラブ（4人）（議員3人）

3月6日 鹿追寿会（21人）（議員3人）

3月26日 農業委員会（12人）（産業厚生常任委員会）

6月20日 美蔓老人会（15人）（議員3人）

[平成31年]

○議会報告会・広聴会

1月24日 町民（17人）（議員10人）

○懇談会

1月29日 瓜幕中学校 生徒会（4人）（議員4人）

○意識アンケート

1月31日 鹿追中学校 3年生（49人）

【考察】

議会基本条例の精神である住民との対話、住民とともに進める改革の進展を目指した。

広報部門では年4回の議会だよりの発行と、同じく年4回のミニ広報の発行により、より分かりやすい紙面の構成等、より読みやすく、より親しんでもらえる広報紙を目指し、部員一丸となって編集にあたってきた。

広聴部門では全議員が対応し、「議会報告会」「各地域老人会」「まちなか女性会議」「まちなか青年会議」等、各年齢層と意見交換し、それぞれの意見を検証、調査、検討し町への提言を行い、行政へ反映することが出来た。

議会報告会は参加人数の減少と毎回の参加者が固定化され、若者、女性の参加が少ないという課題があった。議会報告会の回数を減らし、年2回にする等の試みを実施したが、半年に一度では情報が多くなることや、情報が遅くなる等の意見を受け年4回に戻した。今後、このような状況を打開するために、議会全体で問題解決の方策を探っていかなければならない。

新たな行政課題の発掘のためにも、より多くの町民とのまちなか会議が、広報広聴委員会として今後も重要であると意識するべきと考察し、この件の所管事務調査の最終報告とする。